



交通安全市民会議 ニュース



災害時のドライバーの心構え ~もしも大地震が発生したら~

先月1日、石川県能登半島において、震度7を記録する「能登半島地震」が発生し、甚大な被害がもたらされ、多くの尊い命が失われました。私たちの住む東海地方も、**いつ大地震が来てもおかしくない状況だと言われています。**

もしも、運転中に地震が発生した場合、どうしたらよいのでしょうか？
災害時にドライバーが取るべき行動を知り、もしもの時に備えましょう。



運転中に大きな揺れを感じたら



ハザードランプを点灯

ゆっくり
左側に寄せる

- ▶ 急ハンドル、急ブレーキを避け、ゆっくりスピードを落として道路の左側に停車します。その際、ハザードランプを点灯させるなど周りの車両に注意を促しましょう。(揺れによる道路の形状の変化に注意)
- ▶ 橋の上やトンネル内部および交差点内にいる場合は、安全を確かめながら通過したのち、安全な場所で停車します。

安全に停止できたら



車内で
待つ

情報収集



- ▶ 停止後はエンジンを止め、揺れが収まるまで車内で待ちます。
- ▶ スマートフォンやラジオなどから地震情報や交通情報を確認しましょう。

車を置いて避難するときは



車のキー
は車内に

貴重品は
持って避難

- ▶ できるだけ道路外の、避難する人や応急対策の妨げにならない場所に移動させてください。
- ▶ やむを得ず道路上に置いて避難する時は、窓を閉めてドアをロックせず、車のキーは付けたままか、運転席など車内のわかりやすい場所におきます。貴重品は持って避難しましょう。

※緊急車両などの妨げになるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。

高速道路では



非常口
から脱出



- ▶ あわてずゆっくり減速し、ハザードランプで前後の車に注意を促しながら、道路の左側に寄せて停車します。揺れが収まったら、緊急に非難する必要がある場合は、キーを付けたまま車を放置して、近くの「非常口」などから脱出します。
- ▶ 高架区間にいる場合は、倒壊していなくても車から離れ、「非常口・階段」「出入口」から避難しましょう。